

平成29年度第1回碧南市スポーツ推進審議会 会議録

1 日時

平成29年4月20日（木）午後1時半～午後2時半

2 場所

碧南市臨海体育館 会議室

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者

杉浦昌彦、井上浩之、石川信夫、生田譲、坪井基紀、鈴木友喜広、杉浦亜紀子、竹内友二、榊原満、伴野義雄、古久根久美子、鈴木和代、竹内綾子、奥谷直人

(2) 欠席者

高橋泰、加藤友子、生田弘幸

(3) 事務局職員

スポーツ課長 深津広明、スポーツ課係長 杉浦宏和、スポーツ課担当係長 永田竜司、スポーツ課主事 長崎良亮、平澤万馬、中根里奈、臨時職員 山田理絵

4 傍聴者 0人

5 議題

(1) 平成29年度スポーツ課事業計画について

(2) その他

6 議事の要旨

(1) 教育部長あいさつ（奥谷直人教育部長）

(2) 会長あいさつ（杉浦昌彦会長）

(3) 議題

(1) 平成29年度スポーツ課事業計画について

事務局が会議資料に基づき、スポーツ課事業計画について説明した。その後、審議した結果、了承された。

(2) その他について

<主な意見・質疑>

1、ビーチバレーへのアプローチについて

【委員1】 高校へのビーチバレー普及に力を入れているそうだが、コートの完成時期を見据えて、まずは、その先を担っていく小・中学生の年代を中心に普及をしていく必要があるのではないか。

【事務局】 もちろん考えている。

【会長】 バレーボール協会は何か考えがあるか。

【委員2】 小学生から取り組むのは、足腰が鍛えられて良いと思うが、インドアバレーのほうが人気。ただ、バレーボール人口が減ってきている。

【事務局】 高校生は、インドアバレーとビーチバレーを平行して取り組んでいるところが多い。

2、指導者の確保について

- 【委員2】近年、どのスポーツ協会・団体でも、指導者がいない、育たないというのが現状。若い人でも指導者になれるような体制を整えていただけるといいのではないか。
- 【事務局】指導者確保や資質向上の研修等を行っているが、団体との連携や体制強化も考えていく案件である。
- 【委員4】体育協会では、以前、盛んに取り組んでいたが、だんだん需要がなくなり自然消滅してしまった。
- 【委員1】子ども達から、中学でやりたい部活がないと聞いた。指導者がいないというのが現状。やりたい部活の幅を広げれば、スポーツ人口も増えていくのでは。
- 【事務局】外部講師が随時おり、今後についても考えている。
- 【委員5】予算（講師手当て）が取れるかで、外部講師の希望者数も変動してくるのではないか。
- 【事務局】学校の実態に応じて予算はある。
- 【委員2】外部講師の質、またメンタル面でのトラブルが懸念される。それから、種目を増やしても、交流試合ができないという問題もでてくる。